



## 船引高等学校は創立70周年

### 太宰治は没後70年

船引高校は今年、創立70周年を迎えます。また、「走れメロス」などで有名な文豪、太宰治が亡くなった年からも70年になります。しかも、船引高校の創立記念日は6月16日、太宰治の誕生日と太宰を偲ぶ桜桃忌は6月19日と、とても近いんです。

この共通点を機会に、太宰治の作品を読んでみませんか？



#### <太宰治 略歴>

- 1909年 青森県北津軽郡金木村(現五所川原市)に生まれる。本名津島修治。
- 1923年 14歳。青森県立青森中学校に入学。小説を書き始める。
- 1933年 24歳。太宰治の筆名を使い始める。
- 1940年 31歳。「走れメロス」を発表。
- 1947年 38歳。「斜陽」刊行。
- 1948年 39歳。「桜桃」を発表。「人間失格」を脱稿。入水。

### オススメ作品

#### 『人間失格』

「恥の多い生涯を送って来ました。」

本当の自分を誰にもさらけ出すことができず、道化を演じてきた大場葉蔵。その手記には陰惨な半生が描かれていた。

太宰の自伝であり遺書であると言われている作品です。

(初出 『展望』1948年6月号～8月号)

#### 『走れメロス』

約束の日没までに戻らなければ、自分の身代りに人質となった親友が殺されてしまう。

信頼することの貴さを描いた作品です。

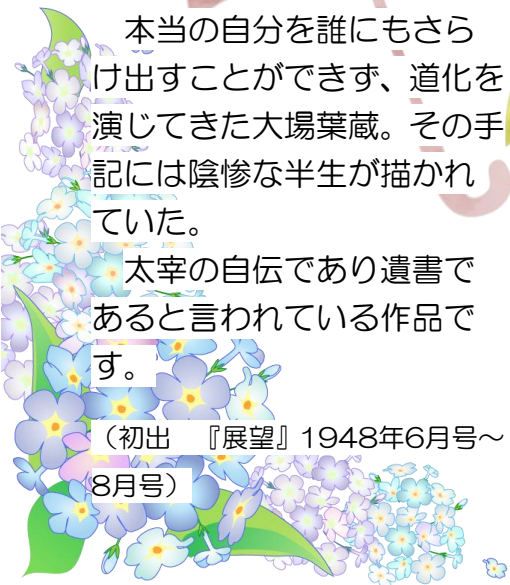
(初出 『新潮』1940年5月号)

#### 『斜陽』

没落していく人々を描いた作品。

「斜陽族」という言葉が生まれたり、国語辞典の「斜陽」という単語に「没落」という意味が加えられたりと、世の中に大きな影響を与えた作品です。

(初出 『新潮』1947年7月号～10月号)



## 私の一文

ペンネーム 芥川が好きな太宰が好き

「私は、私の家庭に於いても、絶えず冗談を言い、薄氷を踏む思いで冗談を言い、一部の読者、批評家の想像を裏切り、私の部屋の畳は新しく、机上は整頓せられ、夫婦はいたわり、尊敬し合い、夫は妻を打った事など無いのは勿論、出て行け、出て行きます、などの乱暴な口争いさえ一度も無かったし、父も母も負けずに子どもを可愛がり、子供たちも父母によくなつく。」

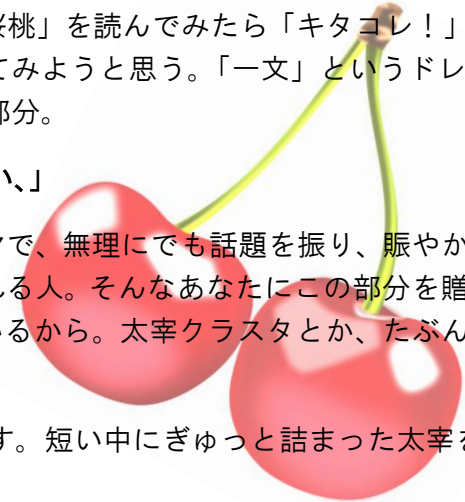
(「桜桃」太宰治)

私は太宰よりも芥川派で、芥川作品なら延々としゃべれそうなのだけれども……。とうか太宰を読んだことが殆どないのだけれども、久しぶりに読んだ「人間失格」が思いのほか面白く、調子に乗ってカップリングされていた「桜桃」を読んだら「キタコレ!」的に入ってきた言葉があったので、この機会に紹介してみようと思う。「一文」というドレスコードなので一文を抜いたが、実際にキタのはこの部分。

「絶えず冗談を言い、薄氷を踏む思いで冗談をいい、」

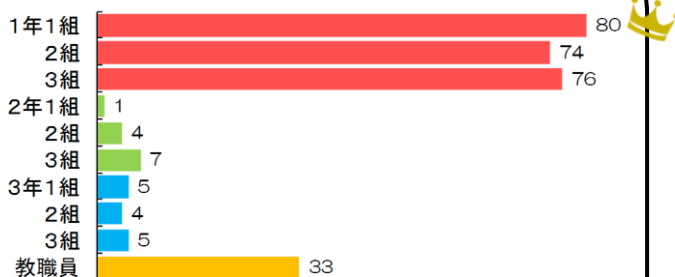
そういう人、いませんか。会話が途切れるのがイヤで、無理にでも話題を振り、賑やかにし、後々ひとりになった時に後悔とともにどっと疲れる人。そんなあなたにこの部分を贈ります。大丈夫。大丈夫。そういう道化師、いっぱいいるから。太宰クラスタとか、たぶんそんなだから。だから大丈夫。

ちなみに「桜桃」は文庫で10ページほどの作品です。短い中にぎゅっと詰まった太宰を、没後70年の今年、味わってみてはいかがでしょうか。



## お知らせ

### クラス別貸出冊数(5月)



今年度も「図書館から学校生活を始めよう週間」が行われています。ふだんあまり図書館を利用されない方は、この機会に図書館探索をしてみてください。意外な発見があるかも!?

①返却期限の過ぎている本は速やかに返却してください。

②「図書館用購入図書アンケート」へのご協力ありがとうございました。夏休み前に入る予定です。

③7/2(月)のお昼休みと放課後に、昨年度までに図書館に入った雑誌のリサイクル(無料配布)を行います。予約や取り置きなどには行いませんので、忘れずにご利用ください。